

知事コメント

令和4年3月9日(水)

本日確認されました新規陽性者数は783名。県内における流行は多くの地域で未だ実効再生産数1を超えており、やや増加傾向で推移しております。

しかし、医療のひっ迫状況を表す病床使用率については横ばいで推移しております。これは、全体での新規陽性者数の増加に対して、入院患者の増加が抑えられていることが要因です。

入院患者の増加が抑えられていることは、介護現場などでの感染予防対策により入院率の高い高齢者において陽性者数の増加が抑えられていること、そしてワクチンの3回目接種が進んできていることによる影響の可能性が示されているところです。

3月8日時点、沖縄県における高齢者への3回目接種割合は63.3%。21万148人に3回目接種が行われております。

県は、県民の皆様に感染対策の徹底について呼びかけるとともに、3月末までを「沖縄県ワクチン追加接種推進期間」とし、市町村と連携し高齢者への追加接種について全力で取り組んでいるところです。

市町村においても、接種券無しでの接種が那覇市において実施されており、その他の市町村においても自治会と連携した住民への呼びかけ等、接種しやすい環境づくりに取り組むほか、高齢者施設等への巡回接種に係る調整を行い、3月8日時点で、41市町村のうち、過半数の22の市町村において高齢者の70%以上への接種が進んでいるところです。

オミクロン株に対するワクチンの効果については、厚生労働省が発表している海外の報告によると、発症予防効果や入院予防効果は、追加接種することにより回復することが示唆されております。2回目接種終了から6か月以上経過した方は、予約が取りやすい方のワクチンで早めに3回目接種することをお勧めします。

追加接種だけでなく、1・2回目接種についても県、市町村どちらの会場でも、受けることが可能です。未接種の方は、最寄りの会場で早期の接種をお願いします。接種券を紛失しお困りの方は、再発行も可能です。お住いの市町村にお問合せください。

高齢者等へのワクチン接種を進める一方で、現在流行の中心は、子供たちとその親世代となっています。直近1週間の年代別陽性者数割合は、本日時点10代が18.2%と最多であり、次いで10歳未満が17.6%、そしてその親世代である30代が16.4%、40代14.5%となっています。

10代以下の子供たちの感染経路としては、保育・幼稚園児、小学生、中学生、高校生のどの層においても、(先々週と比較すると)交友関係からの感染が増加してきております。症状がある時には、学校を休む、友人と会うことを控えることが感染拡大を防ぐ基本です。大人たちも換気のよくない屋内で密集することのないように子どもたちの感染対策にご配慮頂きますようお願い致します。

また、直近では、八重山圏域における流行が懸念されます。本日時点、病床使用率は59.1%、人口10万人あたりの新規陽性者数(確定日)は390.75人となっております。

八重山圏域においては、一時まん延防止等重点措置の再要請を検討する目安としておりました「病床使用率60%以上」、「(人口10万人あたりの直近1週間の新規陽性者数)前週比2倍」に至っておりました。その為、県は病床使用率が60%を超えた(2/26)時点から地域への感染の拡がり等について注視し検討を進めてきたところです。

しかし、病床使用率の増加の大きな要因が医療機関内のクラスター発生に伴うものであり現在は60%を下回っていること、重症者が確認されていないこと、陽性者数の前週比2倍の増加が現時点1日のみであったこと、高齢者へのワクチン追加接種率が県内で最も進捗していること(3/6時点77.68%)に鑑み本日の対策本部会議で重点措置の要請については見送ることと致しました。

ただし、地域で感染拡大のおそれがあることをお知らせするため、石垣市、竹富町、与那国町に「コロナ感染拡大警報」を発出することと致しました。「コロナ感染拡大警報」の地域は、感染拡大により医療ひっ迫が懸念されます。住民の方は、体調不良時は出勤、登校・登園等は控え、送別会や卒業パーティー等は飲食なしでの開催か、全員検査をお願いします。そして、ワクチン接種についてもお願い致します。

最後に、県内においても、先日(3/5)感染力が高いとされるステルスオミクロン(BA.2)が確認されました。また、昨日も3名の陽性者を新たに確認しており、これまで中部保健所管内、南部保健所管内、那覇市保健所管内において確認されていることからBA.2の市中での拡がり懸念されます。

県外からの移入例も前々週より増加しております。来訪を検討している方については、出発地でPCR等検査による陰性の確認を改めてお願い致します。県民の皆様についても、まん延防止等重点措置指定都道府県との往来は控え、受験・受診・仕事等の必要な場合にあっても、出発前にはワクチン接種の完了又はPCR等検査を受検し、帰沖後も速やかにPCR等検査を受検して頂きますようお願い致します。

今後卒業式や送別会など多人数の交流、春休みにおける移動の増加等により若い世代の流行が急速な感染拡大となれば、高齢者などハイリスク者への感染につながり、医療のひっ迫を招く可能性があります。若い世代においても、現在の県内の感染状況を鑑みながら、日頃から高齢者に会う可能性がある方を中心に基本的な感染対策については徹底して頂くことが大切です。

沖縄県では、昨年3月から4月にかけて流行が起き、それがその後のまん延防止等重点措置や緊急事態宣言につながりました。昨年と比べ、新型コロナウイルスは変異し感染力は高まっておりますが、県内の検査体制の拡充や新型コロナウイルスに感染しやすい場面についての理解、そして県民の皆様の感染対策のお取り組みやワクチンなど、新型コロナへの対抗手段も強くなりました。引き続き感染対策のお取り組みをよろしくお願いします。